

関西バイオ医療研究会 第28回講演会

産業技術総合研究所 関西センター研究講演会

主催：産業技術総合研究所 モレキュラーバイオシステム研究部門／関西センター 共催：関西医薬品協会

医療、創薬、介護、健康に関わる課題解決に向けて、産総研と周辺機関の相互の知見・技術を活用し、個別に進めてきた研究開発を融合することにより、オープンイノベーションの促進が期待されます。このような研究会を通して、医療機関、産総研と産業界の連携が強くなることにより、アカデミアの有望な技術シーズの実用化を促進していきたいと考えています。

開催日時 令和 8年 10月 30日（金）13:00～17:40（受付開始 12:30）

開催場所 グラングリーン大阪 北館5階 JAM BASEカンファレンス5-2

司会進行：高田 英昭（産総研 モレキュラーバイオシステム研究部門）

13:00 開会挨拶 秋田 知樹（産総研 関西センター 所長）

講演第一部

13:05 招待講演1 「脂質ナノ粒子（LNP）が拓くmRNA創薬：感染症からがん治療、未来医療へ」

秋田 英万（東北大学大学院 薬学研究科 教授）

13:55 「抗がん免疫を増強するメソポーラスシリカと次世代複合がん免疫療法」

王 秀鵬（産総研 健康医工学研究部門 生体材料研究グループ 上級主任研究員）

講演第二部

14:40 招待講演2 「ヒト尿由来細胞を起点とする疾患モデル化と創薬

ー低侵襲な患者由来細胞から“Clinical Trial in a Dish”へー」

青木 吉嗣（国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 神経研究所

遺伝子疾患治療研究部 部長）

15:30 「ヒト神経幹細胞を用いたAI-ロボット自律実験基盤の構築」

波平 昌一（産総研 モレキュラーバイオシステム研究部門 バイオシステム応用研究グループ

上級主任研究員、産総研 人工知能研究センター オーミクス情報研究チーム、

奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス領域 客員教授）

講演第三部

16:15 招待講演3 「「体内精密情報デジタルツインシステム」から「生命拡張システム」へ」

佐藤 匠徳（Karydo TherapeutiX株式会社 代表取締役）

17:05 「医薬候補化合物自動発明装置：分子設計と化学合成の自動化～低分子から新規創薬モダリティへ」

石原 司（産総研 モレキュラーバイオシステム研究部門

バイオシステムデザイン研究グループ 主任研究員）

17:35 閉会挨拶 千葉 靖典（産総研 生命工学領域 領域長）

17:40 ～ 18:30 情報交換会（4階 産総研・関経連うめきたサイト交流室 会費：1,000円）

申込方法 以下のURLからお申し込みください

<https://www.aist.go.jp/kansai/ja/news/e20261030.html>

問合わせ先

産総研関西センター 研究講演会事務局

TEL:072-751-9606

E-mail: M-kansai_bio-jimu-ml@aist.go.jp